

29【B】1629

触媒的不斉 *N*-アリル化反応を利用する光学活性アトロプ異性アニリドの合成とメソ型ジアミン誘導体の不斉非対称化

Synthesis of Optically Active Atropisomeric Anilides and Asymmetric
Desymmetrization of *meso*-Diamine Derivatives through Catalytic Asymmetric *N*-
Allylation

○北川 理¹(¹東京薬大薬)

不斉 π -アリル-Pd-錯体を用いる触媒的不斉アリル化反応は、高収率ならびに高エナンチオ選択的に進行する有用な不斉触媒反応として知られている。炭素求核種の不斉アリル化反応では、アリル化剤側での不斉誘起に加え、より困難な求核中心での不斉誘起においても高いエナンチオ選択性が実現されている。一方、窒素求核種を用いる反応では、アリル化剤側での高い不斉誘起は報告されているものの、窒素求核種側に不斉を誘起するタイプは、反応そのものが一般化されていない。

本講演では、不斉 π -アリル-Pd-錯体を用いる窒素求核種側での不斉誘起に関する2つの反応について紹介する。すなわち、触媒的不斉 *N*-アリル化反応を利用したアトロプ異性 *N*-アリル-オルト-*tert*-ブチルアニリドの合成(式1)とメソ型ジアミン誘導体の触媒的不斉非対称化(式2)である。これらの反応は、不斉 π -アリル錯体化学における新たなプロトタイプの反応として位置付けられるものである。

